



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要			
建物名称	ジーシー富士小山第6工場	BEE	1 BEEランク B+

2. 重点項目への取組み度			
重点項目	得点 / 満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.3 / 5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0 / 5		ふつう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.8 / 5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.3 / 5		がんばろう
対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4点以上	ふつう 3点以上
			がんばろう 3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(-)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点	3.3
<p>室内環境対策 (室温制御/ 昼光対策/ グレア対策/ 部品・部材の耐用年数) 適切な換気、空調計画により、良好な室内環境を考慮している。</p> <p>室外環境(敷地内)対策 (生物環境の保全と創出/ 敷地内温熱環境の向上) 外部仕上等は、周辺の景観にハラスよく調和させている。</p> <p>エネルギー対策 (建物外皮の熱負荷抑制/ 自然エネルギー利用/ 設備システムの高効率化/ 効率的運用) LED照明の採用。</p> <p>資源・マテリアル対策 (水資源保護/ 非再生性資源の使用量削減/ 汚染物質含有材料の使用回避) 有害物質を含まない材料選定を行っている。</p> <p>敷地外環境対策 (地球温暖化への配慮/ 温熱環境悪化の改善) 省エネルギーに配慮し、地球環境への負荷低減に努めている。</p>	Q-1 2 2.1 2.1.2	外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.1.3	昼光利用設備	
	3.2 3.2.1	昼光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.1	躯体材料の耐用年数	
	2.2.2 2.2.3 2.2.4 2.2.5 2.2.6	外壁仕上げ材の補修必要間隔 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 空調換気ダクトの更新必要間隔 空調・給排水配管の更新必要間隔 主要設備機器の更新必要間隔	
Q-3 1 3.2	生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上		
LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 モニタリング 運用管理体制		
LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	節水 雨水利用システム導入の有無 雑排水等利用システム導入の有無 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 有害物質を含まない材料の使用 消火剤 断熱材 冷媒		
LR-3 1 2 2.2	地球温暖化への配慮 温熱環境悪化の改善		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点	3.0
<p>サービス性能対策 (耐震・免震/ 信頼性) 構造部等を痛めることなく設備を更新できるよう努めている。</p>	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	耐震性 免震・制振性能 空調・換気設備 給排水・衛生設備 電気設備 機械・配管支持方法 通信・情報設備	
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点
<p>サービス性能対策 (機能性・使いやすさ/ 心理性・快適性/ 空間のゆとり) 階高3.9m以上を確保している。</p> <p>室外環境(敷地内)対策 (地域性・アメニティへの配慮) 敷地内の歩行者動線及び車両動線を整理し、安全で快適な室外環境の形成に配慮している。</p>	Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2	ユニバーサルデザイン計画 階高のゆとり 空間の形状・自由さ	
	Q-3 3 3.1	地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点	2.3
<p>室外環境(敷地内)対策 (生物環境の保全と創出/ まちなみ・景観への配慮/ 敷地内温熱環境の向上) 景観に合う外装仕上げに努めている。</p> <p>敷地外環境対策 (持続可能な森林から産出された木材/ 温熱環境悪化の改善) 周辺環境に配慮し、敷地外環境への影響(騒音、振動、排水、臭気)低減を図っている。</p>	Q-3 1 2 3 3.2	生物環境の保全と創出 まちなみ景観への配慮 敷地内温熱環境の向上	
	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	持続可能な森林から産出された木材 温熱環境悪化の改善	

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ジーシー富士小山第6工場	階数	地上2F
建設地	静岡県駿東郡小山町湯船959番18	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化調整区域)	平均居住人員	30人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年9月 予定	評価の実施日	2026年4月30日
敷地面積	10,000 m ²	作成者	水野 浩伸
建築面積	2,408 m ²	確認日	
延床面積	4,543 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: A: B+: B: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% 60% 80% 100% 100%超

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レダ-チャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
耐用年数・信頼性および対応性・更新性向上に努めている。これは、CASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。	特になし。
Q1 室内環境 主要居室では照度を500lx以上に設定することで快適な作業環境を確保している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の歩行者動線及び車両動線を整理し、安全で快適な室外環境の形成に配慮している。
LR1 エネルギー LED照明器具を採用している。	LR3 敷地外環境 周辺環境に配慮し、敷地外環境への影響(騒音、振動、排水、臭気)低減を図っている。
Q2 サービス性能 食堂をリフレッシュスペースとして整備し、執務から離れて休憩できる環境を確保している。	
LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料選定を行っている。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される